

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然の変化や生物の成長

<テーマの設定理由>

1年を通して様々な自然や生物に触れる機会を設けているが、その時々細切れな知識にとどまっているものが多い。そこで変化や成長に注目することで、子どもたちの興味関心、知識をさらに深めていきたいと思い、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

1年を通して子どもの言動から興味がありそうな事象をピックアップし、探求する。年に3、4回程度深く探求する機会を設ける。2025年秋には紅葉の仕組みについて取り組む。その他チューリップの成長、松ぼっくりの不思議について取り組んでいく予定。子どもの気づきを随時拾って、その中から探求する題材を選んでいく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち葉（子どもたちが拾ってきたもの）、紅葉の仕組みについてのペープサート、電子黒板

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

秋に公園遊びをしている際、夏に落ちているものとは違う色の葉っぱがあることに気づき、疑問を持つ。公園に落ちている葉っぱを集めて色分けをしたところ、色の違いや色ごとの枚数の違いに気づき、興味を持つ。園の知育活動の中で『紅葉の仕組み』についての話を聞く。持ち帰った葉っぱを使って全クラスで色分けをしてみる。知育後に公園に行き、紅葉に触れて遊ぶ。園で電子黒板を使い、一連の流れを振り返る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

公園で葉っぱの色分けをして遊んでいる子どもが緑色の葉っぱがないことに気づき、周りの子どもに声を掛けて一緒に緑色の葉っぱを探し始める。自分が見つけた葉っぱの色を、友だち同士で口々に伝え合う。『紅葉の仕組み』の話を聞いた後、公園で葉っぱの色に興味を持ち、「赤くん見つけた」などと保育者に知らせる。葉っぱの感触や音にも興味を広がり、「すべすべ」「がさがさ」などの発見を伝え合う。「次は何色の木になるのかな」と新しい興味を友だちや保育者と共有する。

<写真>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

写真での記録をたくさん残したことで、子どもとの振り返りが分かりやすくなりました。音も確認できるよう、動画も撮ればよかったです。実際の葉っぱを触ったことで、手触りの違いにも気づけていた。色分けをしたり、葉っぱの色を知ることで、子どもたちの気づきや意識が変わっているように感じた。